



■ツキノワグマとは…

ツキノワグマは本来、臆病な動物で人に見つからないように隠れて生活しています。エサの多くは植物質ですが、動物の死体やハチ、アリなどの昆虫類も食べます。人を攻撃してしまふのは、突然、人と出会ったため驚いた場合や母グマが子グマを守るために行った威嚇の結果である場合がほとんどと言われています。行動範囲は広く1年を通して約50²km²で季節ごとにエサのある地域を求めて移動するため、ナワバリは無いと考えられます。また、行動は日の入りと日の出の時間帯に活発になり、夜間は行動が大胆になります。

クマ出没にご注意を!

岐阜県のほぼ全域がツキノワグマの生息地となっていますが、今年の秋は例年に比べ、クマのエサとなる山の木の実などが凶作で、エサを求めクマが人里にも出没すると予想されています。家庭の生ゴミや、畑に取り残した野菜や果実は、クマを引き寄せる原因となるので、放置しないよう心がけてください。

■遭遇しないようにするために…

1 登山やキャンプ、きのこ狩り等の際は、鈴やラジオなど、音が出るものを携帯し、自分たち人間の存在をアピールしてください。

2 人里に出没させないため、エサとなる柿や栗などの取り残し、収穫予定のない果樹は早めに処分してください。

3 家の周りや農地に生ごみや野菜等、エサとなるものを放置しないようにしてください。

4 果樹園、養魚場、養蜂箱等には電気柵等を設置し、クマを寄せ付けないようにしてください。

■クマと遭遇したら…

1 子グマを見つけたら、近くに母グマがいる可能性がありますので、周囲の物音に注意しながら、静かに立ち去りましょう。

2 クマの歩く方向を確認し、立ち去ったのを確認したら、それとは反対方向に静かに移動しましょう。

3 クマから目を離さず、急に動かず、しゃがまず、走らず、背中を見せずに後退しましょう。
※背中を見せて逃げるとクマは追ってくる場合があります。

◎クマを見つけた場合は、左記、担当課までご連絡ください。



担当・総務部総務課

☎ 67・1832

農林水産部林務課

☎ 67・2121

または各振興事務所振興課